

元世界銀行副総裁

にしみず み え こ
西水 美恵子さん

人間発見



ブータンの若きリーダーの相談役に。国会議員とその娘とフェースペインティングで遊ぶ

世銀でのあだ名は「鉄の女」。貧民のために為政者にケンカを仕掛けるのが自分の仕事だと覚悟をしていた。

局長になる少し前のこと。南アジアで、ある大臣に会見を申し込みました。不正融資の仲介など金融界で数々の悪事を働いていた大臣に詰め寄るためです。当日は先方の次官が同席するほかは私ひとり、覚悟を決めて切り出しました。「大臣、泥棒をしていますね」。確かな証拠に大臣はたじたとなく、白状同様の言い訳を始めました。傍らの次官がとった記録が後に、大臣逮捕につながりました。副総裁になってからも、汚職まみれの為政者にずいぶんケンカを売りました。「根本的な改革をしない限り融資はできませんよ」。いろいろが横行し水道も電気も引

てもらえない村民が頭に浮かび、はらわたが煮えくりかえる。その思いは、眼力と沈黙で伝わるようです。相手がしぼんできたら筋道

である雷龍王4世です。世銀の改革にあたり、貧民の「体験学習」を部下に課したとはいえ、意識改革につながるのか自信がなかつ

部下が私の発言について「ママがこう言った」と話しているのを聞き「辞めどきだ」と瞬時に思いました。リーダーが組織のDNAになるのは危険だからです。そのころ夫が国際通貨基金を退職し一緒にいる時間を持たたいと

汚職まみれの為政者にケンカ仕掛ける

ブータン前国王をはじめ、世界中に“恩師”

「人は誰でもリーダーになり得る」と伝えたい

立てて説明し「よく考えてくれ」と席を立ちました。相手はまさか女がケンカをししかけるとは思わないのか、うろたえたものです。

た。そんな私に大きな勇気を与えてくれました。前国王は「国民総生産より国民総幸福量が大切」という発言で知られますが、その原

考えてもいました。英国人の夫は私の両親に結婚の許しを請うとき「子どもができたら僕が退職して育児をする」と言ってくれた人です。残念ながら子どもは授かりませんでした。年の半分は家を空ける激務を見守ってくれました。

一方、インドのマンモハン・シン首相、パキスタンのムシヤラフ前大統領らは「恩師」だという。リーダーとしてあるべき姿を学んだ。

北は7000級のヒマラヤ連峰、南は海拔2000前後の熱帯ジャングル。国中をくまなく歩き回り国民の声に耳を傾けたのです。雷龍王4世はじめ、すぐれた

「この国に足を踏み入れるのは最後」と思い定め、夫にも同行してもらいました。

パキスタンのムシヤラフ大統領

(当時)とは「あなたほど軍服の似合わない政治家はいませんね」と冗談も言える関係。自分に正直

鉄の女と呼ばれて

⑤

で民をだまさない彼に、尊敬の念を抱いていました。私邸で最後の会見中「ミエコ、ほくもそろそろ軍服を脱ぐときがきている」とぼつりとおっしゃったので「機を逃さないように」と申し上げました。おいとまするとき、車窓から見上げる将軍は直立不動の最敬礼。目深にかぶった軍帽の奥に涙が光っていました。

ブータンの雷龍王4世にごあいさつに伺ったところ「1年に1回は観光で来なさい」と国王命令。リーダー育成のために力を貸してほしいという御意が以心伝心でした。毎年、自費でブータンに通い、若い指導者の相談役を引き受けています。

今は日本の将来が気がかりでなりません。ワシントンと別荘のある英国領バージン諸島を拠点に、年数回日本に戻りリーダー養成を手掛けています。学生、会社員、経営者、政治家など日本の未来を担う人たちの相談に乗っています。世銀で悟ったことは、国づくりの要はリーダーシップだということ。職場でも地域でも、社会を変えようとする人が増えることが大切です。人は誰でもリーダーになり得ることを、日本への恩返しとして伝えていきたいと思っています。

(聞き手は編集委員 野村浩子)
今回はタビオ会長の越智直正さん